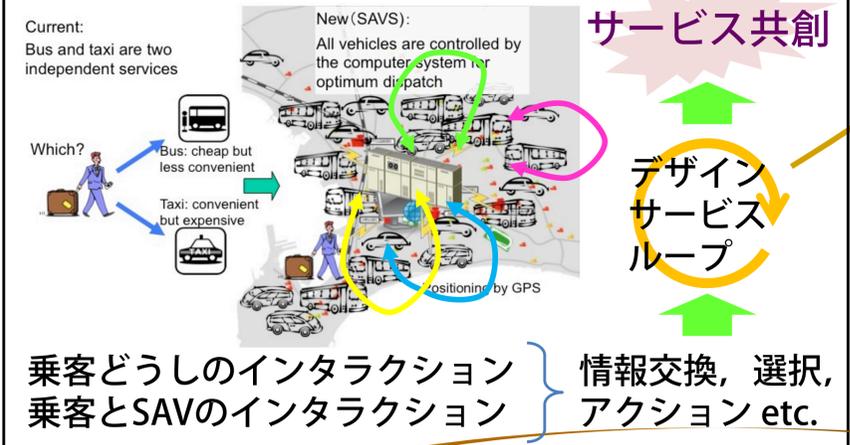


Smart Access Vehicle サービス実践への取り組み ～ サービス共創最適化のためのフレームワーク

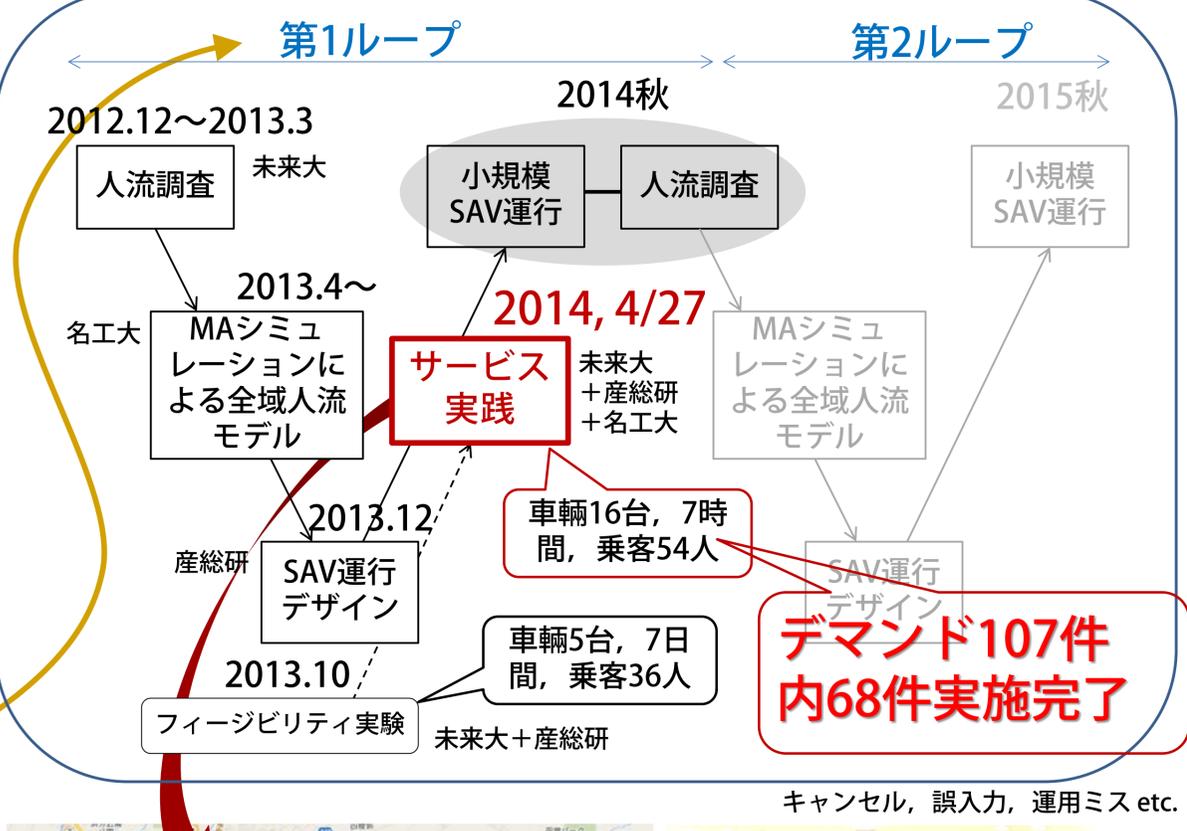
○平田圭二* 佐野渉二* 小柴等*@ 野田五十樹+ 金森亮[†] 中島秀之*
*公立はこだて未来大学 @科学技術・学術政策研究所
+産業技術総合研究所 [†]名古屋工業大学

SAVサービスとは

- Demand Responsive Transportation (DRT)
→ デマンドが生じた時点でSAVを呼び出す
- 行き先と時刻が近いと乗合い（相乗り）が生じることがある
- バスとタクシーの中間のような乗り物
- 過疎地域ではなく都市を対象とする
- デマンド受付から配車までをリアルタイム全自動で、キャンセル処理も全自動
- 配車アルゴリズムの切り替えにより
- ある日のある地域は一般のタクシー配車システム、別の日別の地域ではSAVとして運行することも可能



デザインサービスループによるR&D



函館タクシーでの運転手講習会(10am)

ステッカーを貼って出発(11am)



函館空港でのお出迎え

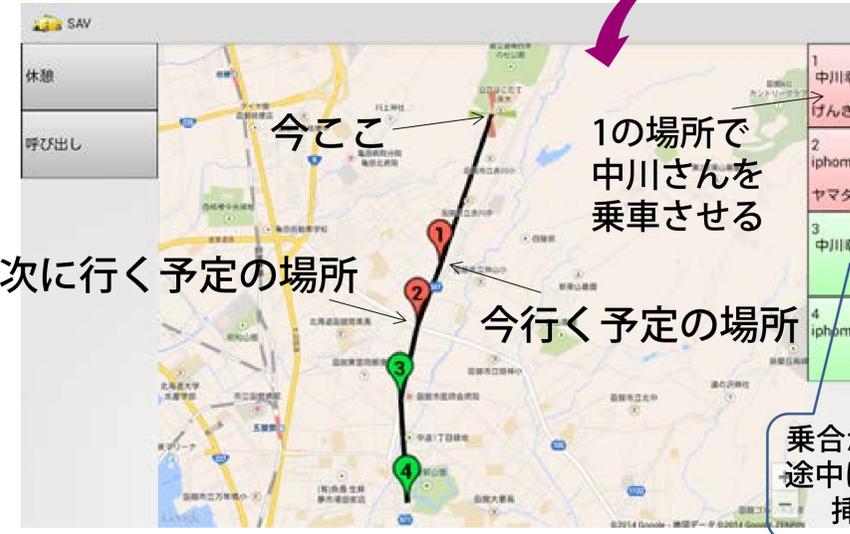


運転席の様子



乗客が操作する端末(Android, iOS)画面

運転手が操作するAndroidタブレット画面



常に1の地点を目指す。番号順の移動予定が表示される。各地点で乗客を乗車/降車させる。乗車すると赤ボタンを、降車すると緑ボタンを押す。



現在の各SAV車輛の位置です。



現在のところ03分程度で目的地に到着する見込みです。



乗車 (待ち合わせの問題)



降車 (目的地指示の問題)

サービス実践終了(6pm)